

〔春陽会の新制度〕

〔春陽会の新制度 挿絵室も特設(第九回展 第十一室/第十二室一部)〕

春陽会は今年が九回で、四月十一日から上野の美術館で開かれるが、今年には新に会務委員会を置き、中川一政、林倭衛、足立源一郎、木村荘八、今関啓司、石井鶴三、碓伊之助の諸氏が之に当り、従来の無鑑査たる、久泉共三、一木弴、小穴隆一、国盛義篤、岡田七蔵、坂口左右視、真田久吉、田中咄哉洲、土屋義郎、若山為三、前川千帆、別府貫一郎、加山四郎、栗田雄、水谷清、鳥海青児、永瀬義郎の十七名を会友とし陣容を新にし更に巴里に事務所を置いて在仏中の作家の長谷川潔が之が会務を見ることになり、尚、今年新しき試みとしては、「挿絵室」の特設で春陽会には現代の挿絵揮毫家を最も多く網羅してあるのでこれは呼物となるべく、版画室には長谷川潔氏の出品の他に、碓伊之助が多数の出品を見る筈である。

『時事新報』 昭和六年二十六日